

# 長野市観光振興計画 策定方針/プロセスの概要

---

長野市商工観光部観光振興課

令和2年11月16日

# 1. 観光振興計画の役割/策定方針

## (1) これからの観光振興に求められること

### 役割1 地方創生に寄与する観光を実現すること

我が国の人口は減少局面に入っており、2030年以降には全都道府県で人口が減少し、2045年には生産年齢人口も現在の7割程度になることが予測されています。人口減少は地域の経済と活力を低下させるため、全国の基礎自治体が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少の抑制策として定住・交流人口の増加に取り組んでいます。

観光振興には、これまで以上に域内への「人の流れ」をつくり、「仕事」を創出することで、地域経済をけん引することが求められています。

### 役割2 社会潮流を踏まえて地域の観光をアップデートさせていくこと

観光に対するニーズは、日々、目まぐるしく変化しています。厳しい地域間競争に勝ち残るためには、官民が連携して、時流に対応する形で地域の観光をアップデートさせていくことが必要です。

例えば、先進国における観光の潮流は確実に「持続可能な観光」へ移行し、「量から質」への転換していくことが見込まれます。こうした潮流を捉えたうえで5-10年先を見据えた地域の観光ビジョンを設定し、従来型の発想の転換を促進していくことが求められます。

### 役割3 新型コロナの影響を最小化し機会に変えること

2020年初頭からの新型コロナの感染拡大により、世界的に観光関連産業が苦境に立たされています。先行き不透明な情勢のいまこそ、官民が一体となってこの難局を乗り切るための方策を具体化し、協調して取り組んでいくことが必要となっています。

中長期的には、新型コロナの影響が低下し、観光需要が回復する局面が訪れるため、そこを見越した取組みを計画的・戦略的に進め、これまでに築いてきた地域のブランドや誘客力を維持・向上させていくことが求められます。

### 次期計画の方向性

- 地方創生の一翼を担い、長野市の地域経済支えていくことが求められている
- 同時に、世界の観光の潮流、コロナ収束後のニーズなどに応えていく必要がある
- そのために“量から質への転換”を目指すなど、長野市の強みを活かす明確な方針を計画に掲げることが重要となる

## (2) 次期計画策定方針

長野市に限らず観光振興のあり方は、今、過渡期にあります。国内各地において地域が疲弊していく中で、新型コロナによるパンデミックの影響もあり、拡大・膨張一辺倒の量を求め、地域を消費しつくすような「焼き畑的」観光は敬遠され、持続可能な観光や、量から質への転換が始まりつつあります。次期計画では、このような社会背景を踏まえつつ、観光産業がこれからも地域の雇用や経済を支え続けていけるような方針や政策を打ち出していくことが求められています。このような状況を踏まえつつ、次期計画の策定方針を以下のように設定します。

**観光が持続的な産業として、  
継続的に地域を支え続けていくための戦略を策定する**

## 2. 業務実施プロセス

### プロセス1：現行計画の評価

計画の改善点

施策の改廃

### プロセス2：長野市観光の現状に対する調査

#### (1) 観光振興政策の今後の潮流の把握

①政府や国内外の先進地域の観光振興の方向性等の把握

②新型コロナの影響等の整理 (特にアフターコロナ)

次期計画の  
大きな方向性

#### (2) 長野市の観光の動向把握

①現行計画の各種指標等の収集・分析（基礎調査）

②長野市観光に対する認知度／満足度／ニーズ分析  
(Web調査)

新規事業立案  
事業の改善点

③各地の状況(観光への関わり等)・地域資源の把握

地区政策の  
方向性

#### (3) インバウンドの動向分析

①主要ターゲット国（発地）の状況整理

②外国人旅行者の評価コメント及び問い合わせ  
情報の分析

ターゲット  
市場の評価/  
ニーズ把握

外国人に訴求  
する資源把握  
／困りごと把握  
観光障害除去

### プロセス3：長野市の観光振興 に対する原則的な考え方の導出

A. 観光振興計画の考え方

B. 観光振興の目的・方針

C. 振興すべきテーマ設定

### プロセス4：振興すべきテーマ に対する戦略の立案

テーマに対する市場状況調査

テーマへの観光事業者ヒアリング

D. 地区別／テーマ別戦略立案

戦略に対する観光事業者調査

成果となる指標収集・整理

E. 各戦略の実践・体制案

第4期

長野市観光振興計画（素案）

#### ●審議会での議論

審議会では、主にプロセス3のA～C、および振興計画素案について議論を行う。

#### ●庁内WG／庁外WGでの議論

庁内外WGではプロセス4のD, Eについて検討を行う。参加者は、計画実施時に事業に関わる者を中心とする。適切な議論ができるようプロセス4では、必要な調査を追加する。

# 3. 策定スケジュール

## (1) 策定の全体スケジュール

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務設計・会議運営支援	業務全体設計							
	業務全体設計							
	観光振興審議会の開催支援							
	観光振興審議会の開催			①				②
	ワーキング							
	庁内ワーキングの開催				①	②	③	
	庁外ワーキングの開催					①	②	③
現行計画の評価	1. 現行計画の評価							
	現行計画の評価							
長野市観光の現状に対する調査	1. 観光振興政策の今後の潮流の把握							
	政府や国内外の先進地域の観光振興の方向性等の把握							
	新型コロナの影響等の整理(特にアフターコロナ)							
	2. 長野市の観光の動向把握							
	現行計画の各種指標等の収集・分析(基礎調査)							
	長野市観光に対する認知度/満足度/ニーズ分析(Web調査)							
	各地の状況(観光への関わり等)・地域資源の把握							
3. インバウムの動向分析								
	主要ターゲット国(発地)の状況整理							
	外国人旅行者の評価コメント及び問い合わせ情報の分析							
長野市の観光振興に対する原則的な考え方導出	1. 観光振興計画の考え方							
	観光振興計画の考え方							
	2. 観光振興の目的・方針							
	観光振興の目的・方針							
	3. 振興すべきテーマ設定							
	振興すべきテーマ設定							
振興すべきテーマに対する戦略の立案	1. 地区別/テーマ別戦略立案							
	テーマに対する市場状況調査							
	テーマへの観光事業者ヒアリング							
	2. 評価・改善の仕組み検討各戦略の実践・体制案							
	戦略に対する観光事業者調査							
	成果となる指標収集・整理							
計画素案の作成	1. 計画素案の作成							
	計画素案の作成							

庁内外WGの結果を報告

骨子案作成

## (2) 審議会における検討プロセス

審議会では、計画の基本的な方向性や観光振興の目的・方針、振興テーマなど、計画策定の根幹となる考え方を検討します。

以下に各会における検討内容を示します。

回数	論点	提供資料／備考
第1回	・策定方針の検討 ・策定プロセスの検討	策定方針 策定プロセス
第2回	・観光振興の目的・方針決定 ・振興すべきテーマ決定 ・計画の考え方（原案） ・観光振興計画の考え方決定 ・地区・テーマ別戦略の検討	基礎調査結果 Web調査等の結果 事業者ヒアリング結果 現行計画の評価結果 WGの検討結果
第3回	振興計画素案の検討	長野市観光振興計画素案

### ●参考：庁内・庁外ワーキングの実施

審議会に加えて庁内ワーキング、庁外ワーキングを設定します。ワーキングは、各振興策について、具体的に誰がどのように実施していくかという各論について議論しそれを施策化・事業化していく役割を担います（＝「新事業創出」）。

#### 庁内ワーキングの検討テーマ

行政が主体的に実施することで観光の質の向上、市場拡大・創出のための基盤づくりになるテーマ

Ex.

- ・ワーケーションの推進
- ・サイクルルートの整備／プロモーション 等

#### 庁外ワーキングの検討テーマ

「観光コンテンツの開発」など民間事業者等による、実際に市場に提供するうえでの検討が必要となるテーマ

Ex.

- ・サイクル・ツーリズムの開発
- ・リトリート・ツーリズムの開発 等

回数	庁内WGの検討内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施目的：今後の議論の土台となる共通認識・知識を共有する</li> <li>●内容</li> <li>①情報共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の観光振興政策の潮流の共有</li> <li>・様々な分野の課題解決に観光が寄与している事例を共有</li> </ul> </li> <li>②共通土台形成のための討議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各課起点で部門横断的に取り組みたいことについて自由討議</li> </ul> </li> </ul>
第2～3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施目的：テーマに対する戦略を立案する</li> <li>●内容</li> <li>①情報共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに対する先進事例を共有</li> <li>・<b>テーマに関する市場状況／事業者意向等情報提供</b></li> </ul> </li> <li>②テーマ実現に向けたアイデア創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ実現のために各課において実践できる事業を立案</li> <li>・事業案を戦略にとりまとめる（実施体制、事業プロセス／サプライチェーン等の整理）</li> </ul> </li> </ul>

回数	庁外WG検討内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施目的：実践するテーマにおけるサービスのサプライチェーンの設計</li> <li>●内容</li> <li>①情報共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各テーマに関する先進事例、市場状況、消費者ニーズ共有</li> </ul> </li> <li>②テーマを実践するためのサプライチェーンの設計 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要ターゲット設定</li> <li>・開発するコンテンツの概要検討</li> <li>・コンテンツを実現するサービスのサプライチェーンの検討</li> </ul> </li> </ul>
第2～3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施目的：テーマに対する戦略をとりまとめる</li> <li>①実践内容のとりまとめ</li> <li>②実施体制の設定</li> <li>③実践に向けた課題にとりまとめ</li> <li>④実践プロセスのとりまとめ</li> <li>⑤成果指標の設定</li> </ul>